

<b>3類型</b>	鉱工業品の生産に係る技術	<b>通巻番号</b>	4-19-001
<b>地域資源名</b>	西尾茶(製茶)	<b>認定日</b>	平成19年10月12日
<b>地域</b>	愛知県西尾市	<b>所管省庁</b>	経済産業省、農林水産省

**事業名: 世界で最も厳格な残留農薬基準を持つ欧州市場へ向けた無農薬有機栽培抹茶の製造・販売事業**

会社名: 株式会社あいや

所在地: 愛知県西尾市上町15

連絡先: TEL: 0563-56-2233

H P: <http://www.matcha.co.jp>

FAX: 0563-56-2257

**事業概要(新たな活用の視点)**

- ・西尾は生産量全国一位を誇る抹茶産地であり、伝統的な石臼挽き製法を有する。当社は石臼挽きを完全自動化し、業界に先駆け、厳しい品質管理体制を整備し、品質を数値化してきた。
- ・抹茶を食材として活用、製菓、飲料などの食品原料市場へ参入しており、茶道以外の新市場を開拓して世界に向けて抹茶を発信している。
- ・欧州市場は健康や無農薬有機栽培に対する志向が非常に強く、参入が難しい。当社は、旧下山村の農家と連携し、抹茶の原料である碾茶の無農薬有機栽培法を確立し、欧州で最も厳格なオーガニック認定機関であるIMOの認証を2002年に取得、本事業により、本格的な欧州市場への展開を目指す。



**売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)**

**◆競争力**

- ・当社は、抹茶業界では初めて日・米・欧のオーガニック認証を取得し、原料の碾茶栽培から抹茶加工まで一貫して厳格な品質管理の下で生産。
- わが国オーガニック抹茶製造の先端的企業である。

**◆市場性**

- ・抹茶は近年、海外においてもアイスクリーム、菓子、飲料、麺類等に幅広く活用されている。欧州では健康志向とともに「和」への理解・共感が深まり、今後において、食品素材分野での抹茶の活用範囲拡大が見込まれる。

**◆販路**

- ・米国では既に大手製菓メーカーとの取引があり、欧州でも食品加工用抹茶市場を中心として事業展開していく。
- ・欧州最大の有機栽培展示会Bio Fachへの出展、現地法人による販売を通じて市場を拡大する。

**地域資源における関係事業者との連携**

- ・厳選された原料調達に不可欠な無農薬有機栽培碾茶農家、岡崎の花崗岩加工業者と連携を深め、三河地域の資源を用いて西尾の抹茶を世界へ展開していく。